

第11回 いわてユニセフのつどい

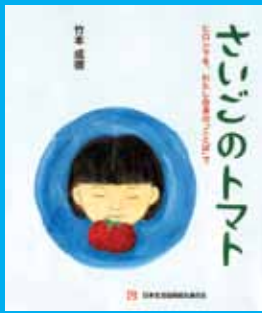
子どもたちの しあわせな 未来のために

入場
無料



世界では、4秒に一人、幼い子どもが5歳の誕生日を迎える前に亡くなっています。年間760万人、6割が生後1ヶ月の間に亡くなっています。そのほとんどが予防接種で簡単に防げる感染症や下痢による脱水症、栄養不良などで先進国では考えられないような理由で失われています。

また、未曾有の東日本大震災は復興2年目を迎え、ユニセフは日本の子どもたちの心のケア、子どもの保護などに他団体と一緒に取り組んでいます。世界に助けを求める子どもがいるかぎり、子どもたちのしあわせな未来にむかって一緒に心をつないでいきましょう。



昭和二十年八月六日(午前八時十五分十七秒)一発の原子爆弾の投下で、広島は瞬時に灰塵と化した。その瞬間、わたしは爆心地からわずかキロとこの間にいました。フカッ、ドーンと、ものすごい光とものすごい音がしたかと思つた。まわりは瞬のうちに真っ暗になってしまいました。これまでもお世話の人が広島について書いたり、語ったりしていますが、あのときの雲の下は、先が見えないほど真っ暗になってしまふということ、意外に知られていません。そのまっ暗の中を、わたしは何時間も逃げまわっていました。

著者であり元ユニセフこつこつへ理事、元日本生協連会長の竹本成徳さんの被爆体験をまとめた本です。

ユニセフ写真展『EYE SEE TOHOKU』～子どもたちが見る被災地の今と明日～

花巻市 妙円寺…7月30日～8月2日 / 盛岡市 アイーナ…8月4日～8月5日



3・11 ユニセフ東日本大震災報告写真展



洋野町立城内小学校で「ユニセフ出前講座」



吉里吉里保育園の卒園児たち

日時 2012年 8月5日(日)
10:00～12:30

会場 いわて県民情報交流センター
アイーナ 8F 803号室
盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1

保育有

第1部

報告

世界の子どもの現状と ユニセフ東日本大震災支援報告

(公財)日本ユニセフ協会 東日本大震災緊急支援本部
東北代表 学校事業部副部長

水野 眞里子さん

第2部

講演

「さいごのトマト」 あの日をわたしのことばで

広島市で中学2年生のとき被爆、阪神淡路大震災を経験し、今、東日本大震災に思うこと、わたしのことばで聞きたい…

兵庫県ユニセフ協会 会長
竹本 成徳氏



竹本 成徳氏 プロフィール

1931年生まれ 広島出身
旧広島修道中学校2年生のとき、広島市で被爆、元ユニセフこつこつへ理事、元日本生活協同組合連合会会長、現在兵庫県ユニセフ協会会長

同時開催

入場無料

被災地の子どもたちが見て、感じて、考えていることを、写真やメッセージを通じて発信する子ども写真プロジェクト「EYE SEE TOHOKU」。2011年11月から12月にかけて、岩手県大槌町、宮城県石巻市、福島県相馬市で実施され、27名の小・中学生が参加しました。2012年3月から、ニューヨークのユニセフハウスや東北3県、全国各地でも写真展を開催します。

主催

第11回いわてユニセフのつどい実行委員会
岩手県ユニセフ協会

〒020-0180

岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2階
TEL:019-687-4460 FAX:019-687-4491
E-mail:sn.iunicef_iwate@todock.jp

後援

岩手県 岩手県教育委員会 盛岡市 盛岡市教育委員会
JICA東北支部 岩手県国際交流協会 岩手日報社 盛岡タイムス社
岩手日日新聞 NHK盛岡放送局 IBC岩手放送 テレビ岩手
めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手

※記載された個人情報は、ユニセフの広報活動・募金活動のみに使用させていただきます。

2012年 月 日

住 所	〒 -		
フリガナ 氏 名	他 名	性別	男 ・ 女
		年齢	才
保育申し込み	名 才		
電話番号	()		
Eメールアドレス	@		

アンケートにご協力下さい

今回のイベントを知ったきっかけをお知らせください。

※該当する番号を○で囲んでください。

1. 新聞・タウン誌など ()
2. 岩手県ユニセフ協会のホームページ・ダイレクトメール
3. 日本ユニセフ協会のホームページ
4. 生協関係
5. 知人
6. その他 ()

心をつなごう！こどもたちへのメッセージ・平和メッセージ

▼ぜひご記入ください▼



第 11 回いわてユニセフのつどい実行委員会

FAX でのお申し込みはこちら **Fax 019-687-4491** 岩手県ユニセフ協会